

平成 23 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社ロジコム
代表者名 代表取締役社長 本 荘 良 一
(コード 8938 JASDAQ・G)
問合せ先 取締役管理部 総務マネージャー 涌井 弘行
(TEL 042-565-2111)

第三者割当により発行される株式の募集並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 12 月 26 日開催の当社取締役会において、下記のとおり第三者割当により発行される株式の募集を行うことについて決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、代表取締役社長である本荘良一は、特別利害関係者のため、決議には参加いたしておりません。

また、当該第三者割当増資により、主要株主である筆頭株主が異動いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

I. 第三者割当により発行される株式の募集

1. 募集の概要

- | | |
|---|-----------------------------|
| (1) 発行期日 | 平成 24 年 1 月 12 日 |
| (2) 発行新株式数 | 普通株式 4,330 株 |
| (3) 発行価額 | 1 株につき 金 23,100 円 |
| (4) 発行価額の総額 | 金 100,023,000 円 |
| (5) 資本組入額 | 1 株につき 金 11,550 円 |
| (6) 資本組入額の総額 | 50,011,500 円 |
| (7) 募集又は割当方法 (割当先) | 第三者割当の方法による
本荘良一 4,330 株 |
| (8) 申込期日 | 平成 24 年 1 月 11 日 |
| (9) 払込期日 | 平成 24 年 1 月 12 日 |
| (10) 前記各号について、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件とする。 | |

2. 募集の目的及び理由

今年度のわが国経済は、リーマンショック以来の経済・金融の低迷が継続していた中、東日本大震災の発生により一層の混迷を迎え、更には急激な円高の進行、欧州における金融危機の発生など、新たな懸念が次々に発生し、先行きの不安感が一層強くなっております。わが国では、消費者の生活防衛意識は依然強く、内需の拡大は望める状況でないと判断した企業が、次々に外国のマーケットに進出を始めているほど、国内の需要は復活の見通しが立たない状況が続いていると言えるでしょう。

当社が主な事業とする不動産業界においても、需要の減少や資金供給の停滞等により取引が活発になっている状況とは言えず、依然として厳しい環境にあります。

このような環境の中、当社は、当社の主力事業であるサブリース事業（不動産オーナーから当社が土地又は土地・建物を賃借し、当社からユーザーに賃貸する事業）による収益の確保と利益率の維持に努めております。一方、需要の減退により、長期安定的な賃貸契約の締結はますます困難な状況になってきており、当社は既存ユーザー及び潜在的ユーザーの維持・獲得に全力を傾注しております。

その結果、空床率は昨年 11 月と比較して回復（11%台が 6%台に回復）しておりますが、前述のような状況の中、先行きは予断を許さない状況と判断しております。

また、昨年来当社は、新たな賃貸物件の獲得を目指して商圈を拡大したり、サブリース事業以外の不動産関連業務に積極的に取組んだり、多様な業務活動を行って参りましたが、不動産事業に関する融資は依然厳しい環境にあり、新規の資金が調達できない状況が続いております。当社としては、当社の収益の源泉となっておりますサブリース事業を一層堅固にしてゆき、更には同事業の周辺業務も幅広く取組む所存ではありますが、テナントリーシングや新規物件を獲得するために引き続き商圈の拡大や不動産関連業務に対して更なる業務活動が必要と考えており、相応のコストも発生すると予測しております。そのため当社は、今後も機動的に事業に利用可能な資金の確保が不可欠となります。

一方、当社の資金調達は、主に金融機関からの融資に依存しておりましたが、ここ数年の当社及び当社グループの業績から、今後、金融機関から新たな資金調達が機動的に実現できる状況とは言えず、当社の適時な事業展開及び安定した経営のための外部からの新たな資金調達の実現は不透明であると言わざるを得ないため、資本増強による資金調達が、現在の選択肢のうちでは最も有効かつ効果的であるという結論に達しました。

更に当社は、小規模ではありますが不動産関連事業、建設業を主な事業とする国内子会社を有しており、当社同様、事業資金の需要（物件確保のための保証金等の差入れ、建築工事獲得のための保証金等の差入れなど）がございます。当社は親会社として子会社を支援することも重要な責務と考えており、その点からも資金を機動的に活用する必要性があると考えております。

以上の状況を踏まえ、当社としては、今後は適時な事業展開及び安定した経営のための財務基盤の増強が重要な経営課題であると認識したうえで、増資が必要不可欠であると判断いたしました。増資の方法につきましては、昨今の株式市場並びに当社の出来高を考慮した場合、公募増資よりも第三者割当増資の方が、確実な資金調達が可能であると判断し、第三者割当増資を実施することを決定いたしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

調達する資金は 100,023,000 円であり、発行諸費用の概算額 2 百万円を差し引いた手取概算額は 98,023,000 円であります。主な発行諸費用の内訳は、アドバイザー手数料（当社主幹事証券会社であるエイチ・エス証券株式会社と業務委託契約を締結）及び有価証券届出書作成費用（株式会社プロネクサス）（1.3 百万円）、登記関連費用（0.5 百万円）等です。

(2) 調達する資金の具体的な使途

上記の差引手取概算額 98 百万円につきましては、新たな賃貸物件の獲得及びその開発に 80 百万円、子会社への支援に 10 百万円及び運転資金に 8 百万円を充当する予定です。支出予定時期は、いずれも平成 24 年 3 月末までを予定しておりますが、物件の獲得状況等により金額・時期が変更になる場合があります。

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
新規賃貸物件及びその開発	80	平成 24 年 3 月末まで
子会社支援	10	平成 24 年 3 月末まで
運転資金	8	平成 24 年 3 月末まで

なお、新たな賃貸物件の獲得及びその開発に使用予定の 80 百万円については、既存物件（既に賃貸物件としての仕様を備えた物件）の借り上げ、事業用定期借地権による借地及び建物の所有、既存物件の購入などの際に発生する保証金あるいは手付金等に充当する予定で

おります。物件の規模や賃貸・売買の相場により保証金等の金額は異なりますが、良い物件を確保するためには、先行して保証金や手付金等が支出される場合があるため、その費用に充当する予定であります。

4. 調達する資金使途の合理性に関する考え方

今回の第三者割当増資で、安定した財務基盤を保持しながら、当社事業の基幹となるサブリース事業はもとより、子会社への支援等、機動的な資金活用が可能となります。

その結果、当社は上場企業として事業継続と経営の安定化を図ることが可能となり、更なる事業拡大を目指すことが企業価値の向上、更には株式価値の向上に繋がると考えられることから、資金使途は既存株主にとっても合理性があると判断しております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

今回の新株式の発行価額につきましては、当該第三者割当による新株式発行に係る取締役会決議日の前日の大阪証券取引所ジャスダック市場における当社普通株式の終値の23,100円といたしました。

上記発行価額を採用いたしました理由は、以下の通りです。

当社の株価は平成23年度初頭から取締役会決議日までの終値平均（出来高のない日は前日の終値と同値とした。以下同じ）が31,210円であり、最高値は平成23年5月10日の39,800円、最安値が同10月3日の21,500円であります。直近6ヶ月の終値平均は28,390円（発行価額との乖離率▲18.6%）、直近3ヶ月の終値平均は24,466円（発行価額との乖離率▲5.6%）、直近1ヶ月の終値平均は23,839円（発行価額との乖離率▲3.1%）であります。

取締役会決議日の前日終値を採用致しましたのは、前述の株価推移を検討し、最も時価に近い価額を参考価額にすることが既存株主の皆様に対して公平であると判断したからであります。

なお、この発行価額については、日本証券業協会の「第三者割当増資等の取扱いに関する指針」に則ったものであり、会社法第199条第3項に規定されている特に有利な金額には該当しないものと判断しております。

また、当社監査役全4名は、当該払込金額が割当先に特に有利でないことに係る適法性に関して、異議がない旨を述べております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資による新規発行株式数4,330株は、平成23年12月26日現在の発行済株式総数の22.38%に相当し、1株当たり株式価値の希薄化が生じます。本第三者割当増資による株式の希薄化は、株式市場における当社株式の需給バランスに大きな変動を与え、当社の株式価値に影響を及ぼす可能性があります。

しかしながら、当社は、今回の増資により、当社の事業強化並びに当社グループの経営安定化に確実に寄与し、これにより、将来的な当社グループの業績の拡大、ひいては企業価値及び株主価値の向上に資するものと考えており、既存株主の利益に繋がると判断しております。これらを勘案したとき、今回の第三者割当増資による発行数量及び希薄化の規模は、合理的な範囲であるものと判断しております。

なお、当社監査役全4名は、本第三者割当増資の新株発行に関して、異議がない旨を述べております。

6. 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

① 氏名	本荘 良一
② 住所	東京都東大和市
③ 上場会社と当該個人の関係	当社の代表取締役社長であるとともに、主要株主（10.67%）であります。当該個人とは、当社のオートリース契約、保証委託契約及び金銭消費貸借契約に対して債務被保証（平成23年9月30日現在、254,959千円）の取引関係があります。

※当社は株式会社大阪証券取引所に対し、当該人物が反社会的勢力と関係ないことを示す確認書を提出しております。

(2) 割当先を選定した理由

本件増資の割当先である本荘良一氏は、当社の代表取締役社長として当社の経営に深く責任を持ち、「2. 募集の目的及び理由」で記載の当社を取り巻く環境（日本経済、不動産業界、金融など）を深く理解したうえで、当社が安定的かつ確実な成長を遂げるため、今この時期に本件増資を実施すべきとの判断から、割当先として拠出の申し出がございました。拠出金額は、個人で負担する金額としては多大であります。前述の目的にも合致しており適切であると判断しております。

また、当社は、外部調査機関（株式会社国際危機管理機構）より割当予定先及び借入予定先の役員並びに大株主が、いずれも反社会的勢力との間に何ら関係がないことを示す調査報告書を入手しております。

以上の情報を基に、割当予定先が反社会的勢力とは関係がないものと判断しております。

なお、当社は株式会社大阪証券取引所に提出したコーポレート・ガバナンス報告書（最終更新日：平成23年7月7日）において、反社会的勢力を断固として排除し、毅然とした対応をとる方針であることを表明しております。

(3) 割当先の保有方針

割当先は、割当新株に関し、長期保有の意向を表明しております。

また、割当先は、割当新株に関し、払込期日より2年間に於いてその全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に書面にて報告すること、当社が株式会社大阪証券取引所に対し当該譲渡内容を報告すること、並びに株式会社大阪証券取引所が当該報告内容を公衆の縦覧に供することに同意する旨の確約書を締結することにつき、内諾を得ております。

(4) 割当先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

割当予定先の払込確実性につきましては、割当予定先との払込スケジュール及び払込金額等に関する継続した協議の中で、払込期日における資金の確保及び払込に関しては十分に確認しながら準備を進めてまいりました。

その結果、割当予定先である本荘良一氏は近親者が経営する会社からの借入を予定（借入金額：1億円、借入予定日：平成24年1月10日、返済期日：平成27年1月31日）しておりますが、当社は当該会社においては割当を受けた株数に相当する資金を十分に保有していることを預金証書等で確認しており、また、本荘良一氏と当該会社間で既に締結された金銭消費貸借契約書を確認しております。

これらの確認作業から、当社は割当予定先の払込みについては確実であると判断しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（平成 23 年 9 月 30 日現在）		募集後	
有限会社グレース八千代	15.15%	本荘 良一	27.01%
本荘 良一	10.67%	有限会社グレース八千代	12.38%
プロスペクト ジャパン ファントム リミテッド	9.80%	プロスペクト ジャパン ファントム リミテッド	8.02%
フィンテック グローバル投資事業 有限責任組合第 12 号	4.65%	フィンテック グローバル投資事業 有限責任組合第 12 号	3.80%
青山 英男	4.45%	青山 英男	3.64%
日本千博株式会社	4.13%	日本千博株式会社	3.38%
黒田 透	3.95%	黒田 透	3.23%
本荘 祐司	3.61%	本荘 祐司	2.96%
本間 保	3.17%	本間 保	2.60%
松本 喜美	2.20%	松本 喜美	1.80%

8. 今後の見通し

本第三者割当増資に係る当社連結業績に対する影響については軽微であり、業績予想等の変更はございません。

（企業行動規範上の手続き）

・ 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、① 希釈化率が 25%未満であること、② 支配株主の異動を伴うものではないこと（新株予約権又は取得請求権すべてが権利行使された場合であっても、支配株主の異動が見込まれるものではないこと）から、大阪証券取引所の定める「企業行動規範に関する規則」第 2 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

9. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

（1）最近 3 年間の業績（連結）（単位：百万円）

	平成 21 年 3 月期	平成 22 年 3 月期	平成 23 年 3 月期
売上高	7,991	5,661	6,542
営業利益	475	50	△32
経常利益	25	△77	△211
当期純利益	△1,079	△82	△457
1 株当たり当期純利益（円）	△68,980.55	△4,845.21	△23,634.45
1 株当たり配当金（円）	—	—	—
1 株当たり純資産（円）	166,821.31	142,905.33	113,809.39

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成23年9月30日現在）

種 類	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	19,350株	100%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－%
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－%
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－%

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
始 値	110,000円	66,000円	47,600円
高 値	114,000円	99,000円	55,500円
安 値	23,500円	44,000円	32,900円
終 値	65,000円	48,200円	40,800円

② 最近6か月間の状況

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
始 値	35,000円	33,900円	32,750円	28,500円	25,700円	24,980円
高 値	39,800円	34,900円	34,150円	30,600円	26,190円	26,500円
安 値	32,000円	30,200円	27,100円	23,200円	21,500円	21,500円
終 値	36,900円	32,550円	28,100円	25,700円	24,000円	23,510円

③ 発行決議日前日における株価

	平成23年12月22日現在
始 値	23,490円
高 値	23,500円
安 値	22,200円
終 値	23,100円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当増資

発 行 期 日	平成21年11月24日
調達資金の額	213,000,000円（差引手取概算額）
発 行 価 額	1株につき 金58,474円
募集時における発行済株式数	15,650株
当該募集による発行株式数	3,700株
募集後における発行済株式総数	19,350株

割 当 先	Prospect Japan Fund Limited 2,000 株 フィンテック グローバル投資事業有限責任組合第 12 号 900 株 日本千博株式会社 800 株
発行時における 当初の資金使途	新規賃貸物件の獲得・取得
発行時における 支出予定時期	平成 21 年 12 月以降
現時点における 充 当 状 況	全額充当済み

II. 主要株主である筆頭株主の異動

1. 異動予定年月日

平成 24 年 1 月 12 日

2. 異動が生じる経緯

I. に記載の第三者割当増資により、以下の通り主要株主である筆頭株主に異動が生じる予定です。

3. 異動した株主の概要

(1) 主要株主である筆頭株主でなくなる株主

①氏 名	有限会社グレース八千代
②住 所	東京都港区南青山 5 - 1 0 - 2
③代表者の役職・氏名	代表取締役 本荘 良一
④事業の内容	株式、社債等有価証券の取得、保有及び売却
⑤資本金	300 万円

(2) 新たに主要株主である筆頭株主となる株主

①氏 名	本荘 良一
②住 所	東京都東大和市

4. 当該株主の所有議決権数（所有株式数）及びその議決権の数に対する割合

(1) 有限会社グレース八千代

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の数 に対する割合	株主順位
異動前 (平成 23 年 9 月 30 日現在)	2,932 個 (2,932 株)	15.15%	第 1 位
異動後	2,932 個 (2,932 株)	12.38%	第 2 位

(2) 本荘 良一

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の数 に対する割合	株主順位
異動前 (平成 23 年 9 月 30 日現在)	2,066 個 (2,066 株)	10.67%	第 2 位
異動後	6,396 個 (6,396 株)	27.01%	第 1 位

5. 今後の見通し

当該異動による当社グループ業績への影響はございません。

以 上